



Title	研究データの未来を築く：研究データ管理人材の育成 によるオープンサイエンスの拡がり
Author(s)	甲斐, 尚人; 古川, 雅子; 長岡, 千香子 他
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/101985
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

学認LMSを活用した 大学横断型の研究データ管理教育支援

国立情報学研究所
古川 雅子

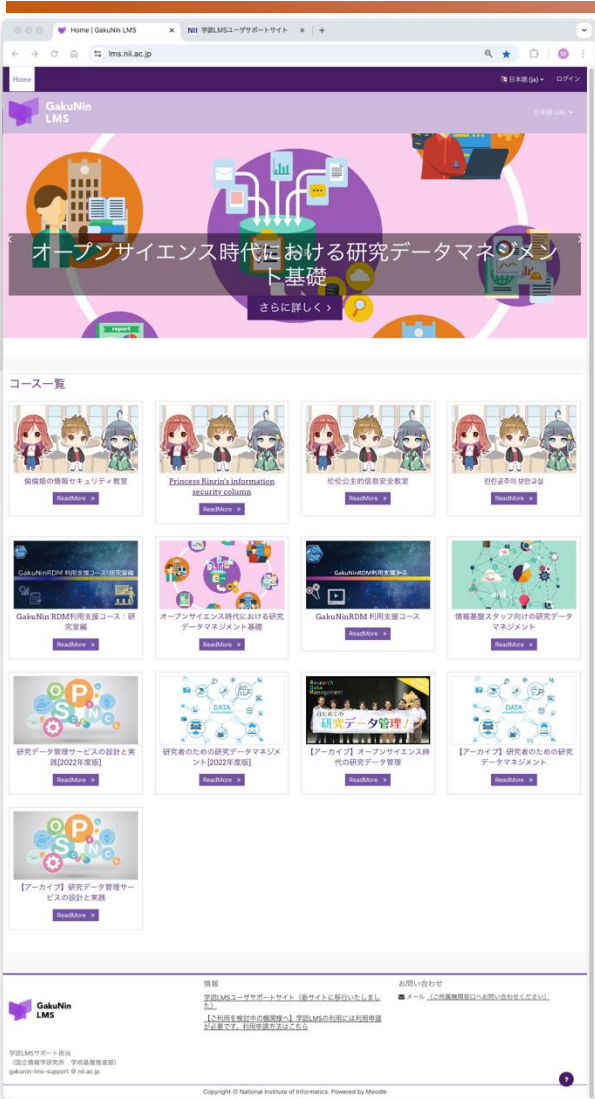
Japan Open Science Summit 2025 (JOSS2025)

6/24 (火) 15:00~16:30 オンライン

研究データの未来を築く：研究データ管理人材の育成によるオープンサイエンスの拡がり

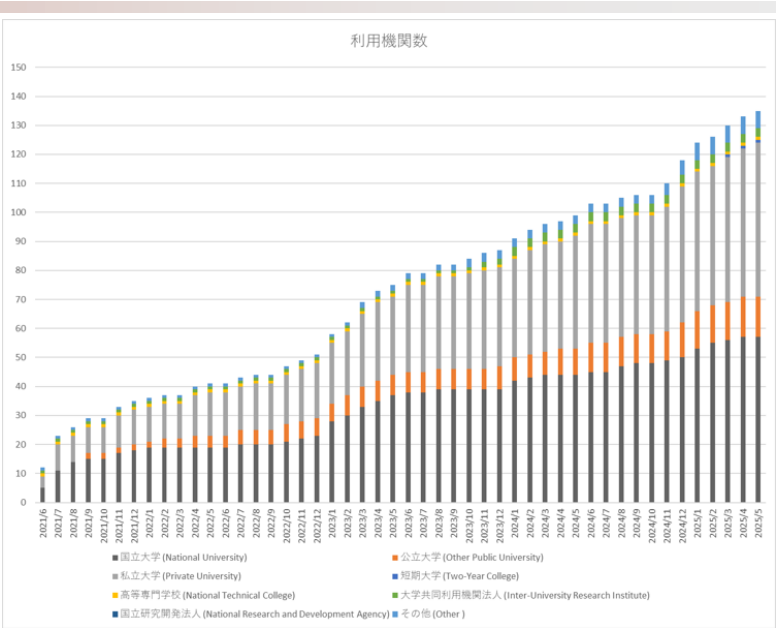
学認LMSのご紹介

学認LMS <https://lms.nii.ac.jp/>



- 2021年6月正式運用開始
- 学術認証フェデレーション（学認）によるログイン管理
- 共通コースの提供
- 機関管理者向けオプション機能

利用機関：136（2025年6月現在）



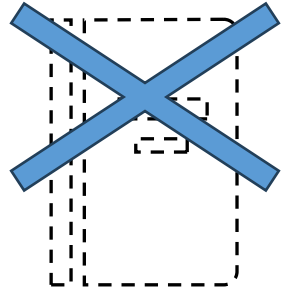
横浜国立大学	大分大学	創価大学	宮崎大学	東京藝術大学	公立諏訪東京理科大学	山口大学
東京海洋大学	大谷大学	電気通信大学	東京大学	熊本学園大学	豊田工業大学	横浜国立大学
特定非営利活動法人コンソーシアムTIES	鳥取大学	国際教養大学	長崎大学	国立保健医療科学院	徳島大学	金沢工業大学
大阪大学	滋賀大学	立命館大学	佐賀大学	同志社女子大学	福島大学	長浜バイオ大学
山梨学院大学	高知大学	奈良先端科学技術大学院大学	東京都医学総合研究所	人間文化研究機構国文学研究資料館	香川大学	愛知教育大学
佐世保工業高等専門学校	京都大学	北海道情報大学	横浜商科大学	近畿大学	名古屋工業大学	豊橋技術科学大学
成城大学	岡山県立大学	山陽小野田市立山口東京理科大学	秋田大学	大阪公立大学	福井大学	東京外国語大学
福岡教育大学	兵庫県立大学	名古屋大学	神奈川大学	核融合科学研究所	海上保安大学校	京都経済短期大学
東京農工大学	お茶の水女子大学	沖縄大学	東北医科薬科大学	岐阜大学	東京女子大学	同志社大学
東北学院大学	神戸学院大学	福岡工業大学	九州工業大学	筑波大学	産業医科大学	福岡大学
国立情報学研究所	宮城教育大学	岩手大学	中村学園大学	北海道大学	京都高度技術研究所	宮城大学
東北工業大学	明治学院大学	信州大学	岡山大学	九州産業大学	日本赤十字九州国際看護大学	鹿屋体育大学
大阪経済大学	東京学芸大学	成蹊大学	広島修道大学	聖隷クリストファー大学	静岡文化芸術大学	兵庫医科大学
京都産業大学	群馬大学	立命館アジア太平洋大学	東北大学	新潟大学	北海道医療大学	聖心女子大学
弘前大学	桐生大学	茨城大学	北見工業大学	法政大学	千葉工業大学	熊本保健科学大学
国際基督教大学	鹿児島大学	鳴門教育大学	愛知東邦大学	京都工芸繊維大学	芝浦工業大学	国立がん研究センター
大阪教育大学	札幌市立大学	愛媛大学	駿河台大学	和歌山県立医科大学	広島市立大学	
滋賀医科大学	青山学院大学	金沢大学	奈良教育大学	盛岡大学	島根大学	
東京電機大学	愛知県立大学	令和健康科学大学	国学院大学	岡山理科大学	北海道教育大学	
広島大学	東京有明医療大学	京都府立医科大学	東京女子医科大学	沖縄科学技術大学院大学	浜松医科大学	

詳細・申込方法：ユーザサポートサイト
https://contents.nii.ac.jp/lms_support

【課題 1 : 共通教材】



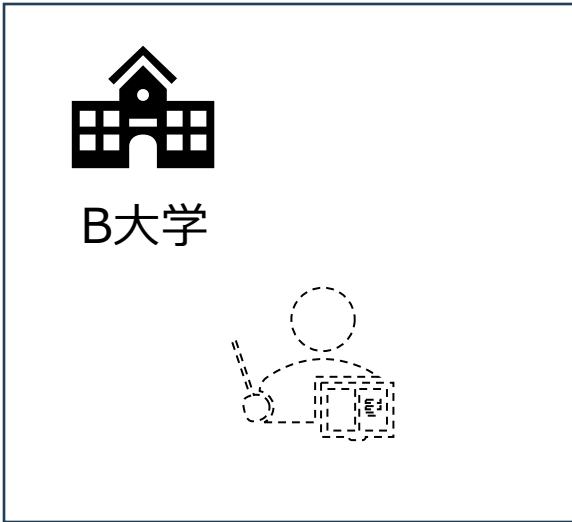
共通教材の不在



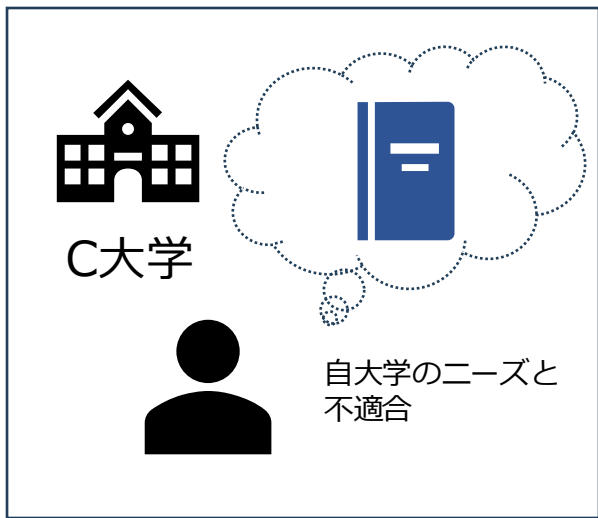
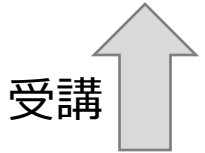
大学独自で
教材を作成・管理



専門教員不在により
教育実施できず



外部の商用LMSが
提供する教材





専門委員会



教材の提供・更新



共通教材



専門協会



教材の提供・更新

C大学用コース



受講

受講

受講



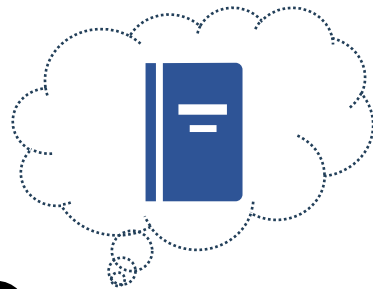
A大学



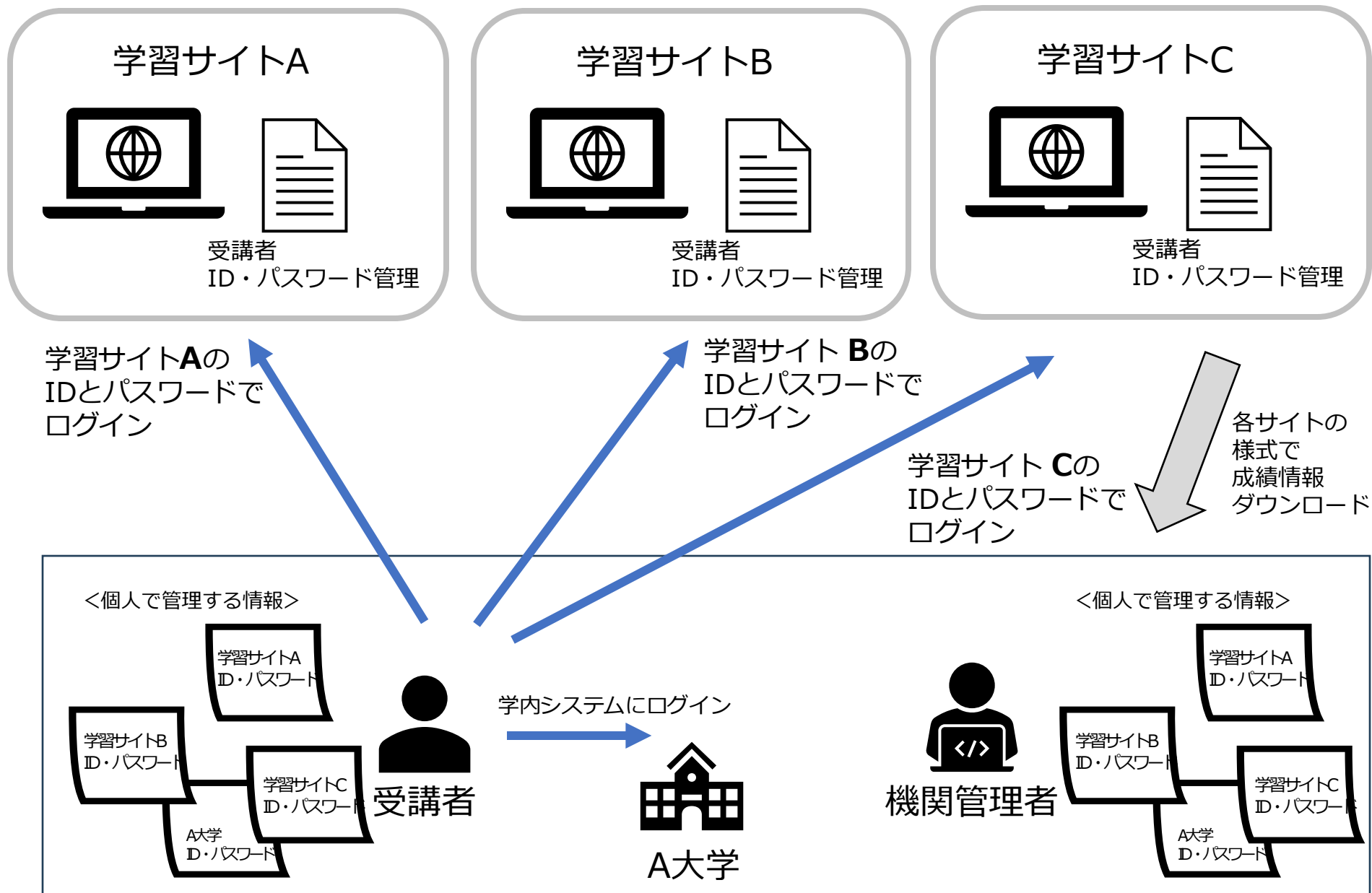
B大学



C大学

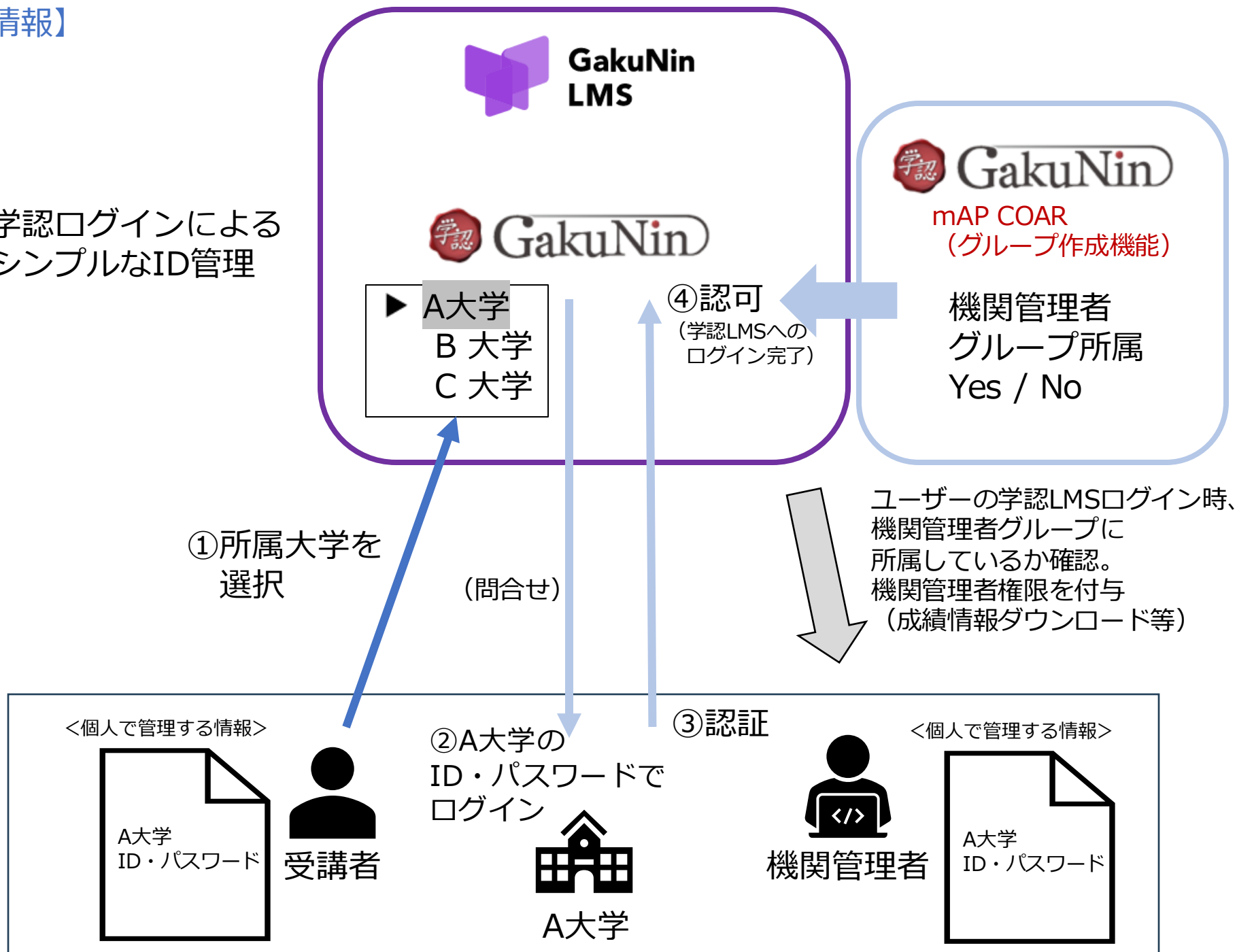


自大学のニーズに
合わせた教材に
カスタマイズ

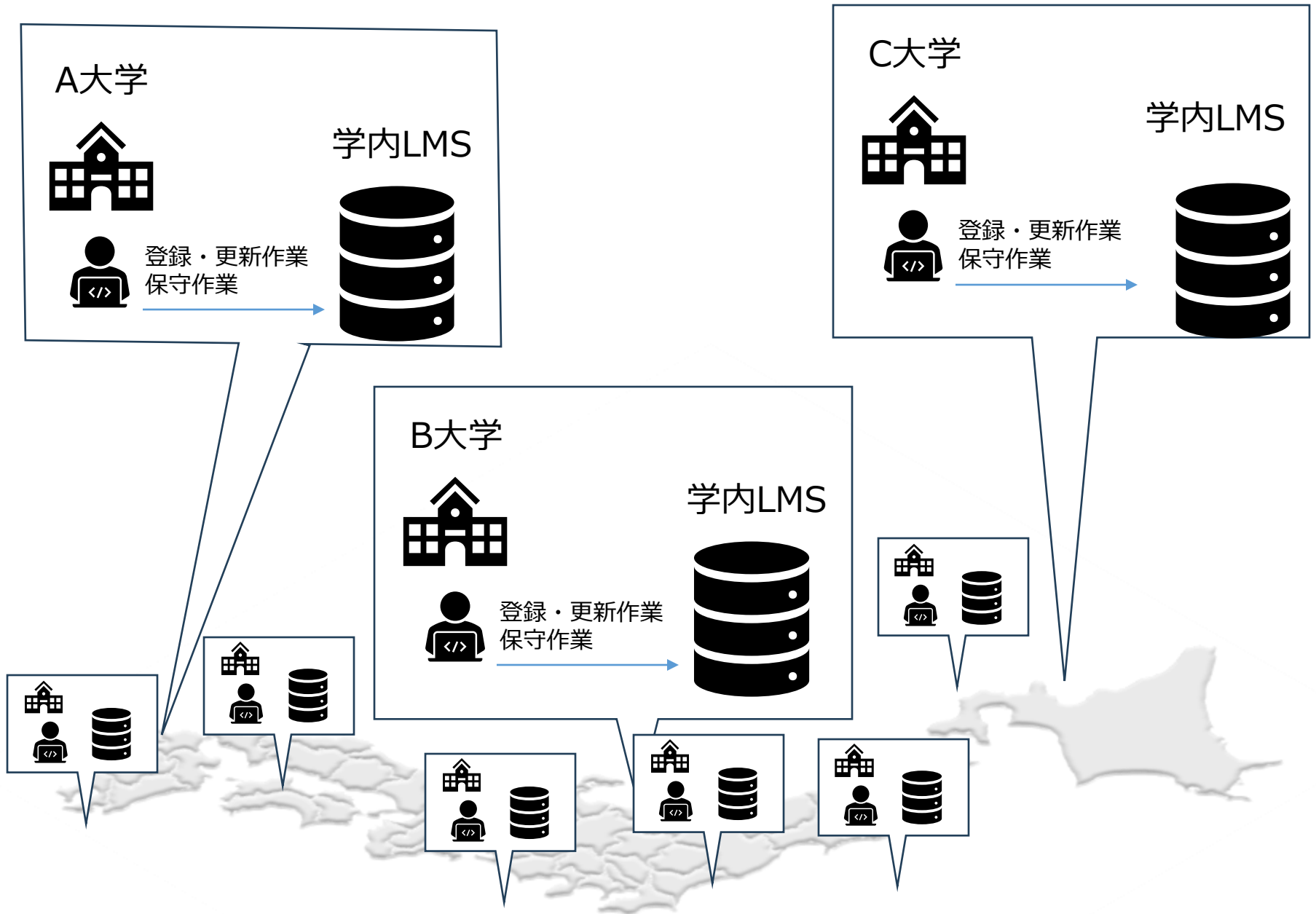




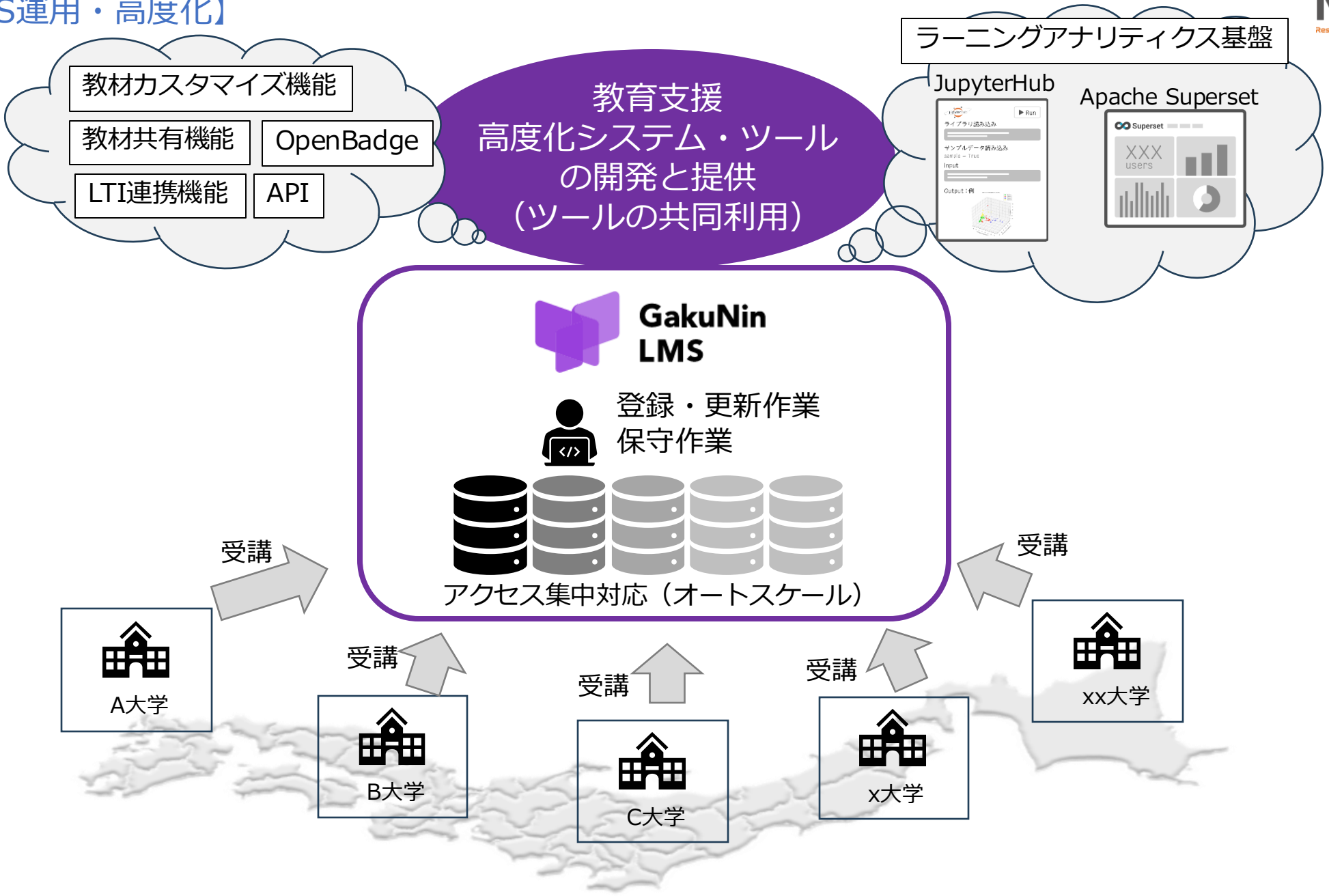
学認ログインによる
シンプルなID管理



【課題3：LMS運用・高度化】



【取組 3 : LMS運用・高度化】



- 教材カスタマイズ機能
- 教材共有機能
- LTI連携機能
- OpenBadge
- API

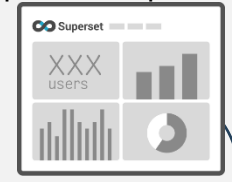
教育支援
高度化システム・ツールの
開発と提供
(ツールの共同利用)

ラーニングアナリティクス基盤

JupyterHub



Apache Superset



**GakuNin
LMS**

**登録・更新作業
保守作業**

**アクセス集中対応 (オートスケーリング)**

**A大学**

**B大学**

**C大学**

**x大学**

**xx大学**

学認LMSを活用した 研究データ管理教育支援

研究データ管理講座

教材の特徴：

- オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）教材を学習コースとして作成
- 短時間の動画（マイクロコンテンツ）教材、理解度確認テストを提供
- コース修了時にデジタルバッジ発行



GakuNin RDM利用支援コース：研究室編

ReadMore »



オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎

ReadMore »



GakuNinRDM 利用支援コース

ReadMore »



情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント

ReadMore »



研究データ管理サービスの設計と実践[2022年度版]

ReadMore »



研究者のための研究データマネジメント[2022年度版]

ReadMore »



【アーカイブ】オープンサイエンス時代の研究データ管理

ReadMore »

RMD教材関連コミュニティ：
オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>
AXIES-JPCOAR研究データ連絡会
<https://sites.google.com/view/axies-jpcoar/home>
国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター
<https://rcos.nii.ac.jp/>

オプション機能（機関管理者機能）

提供サービス

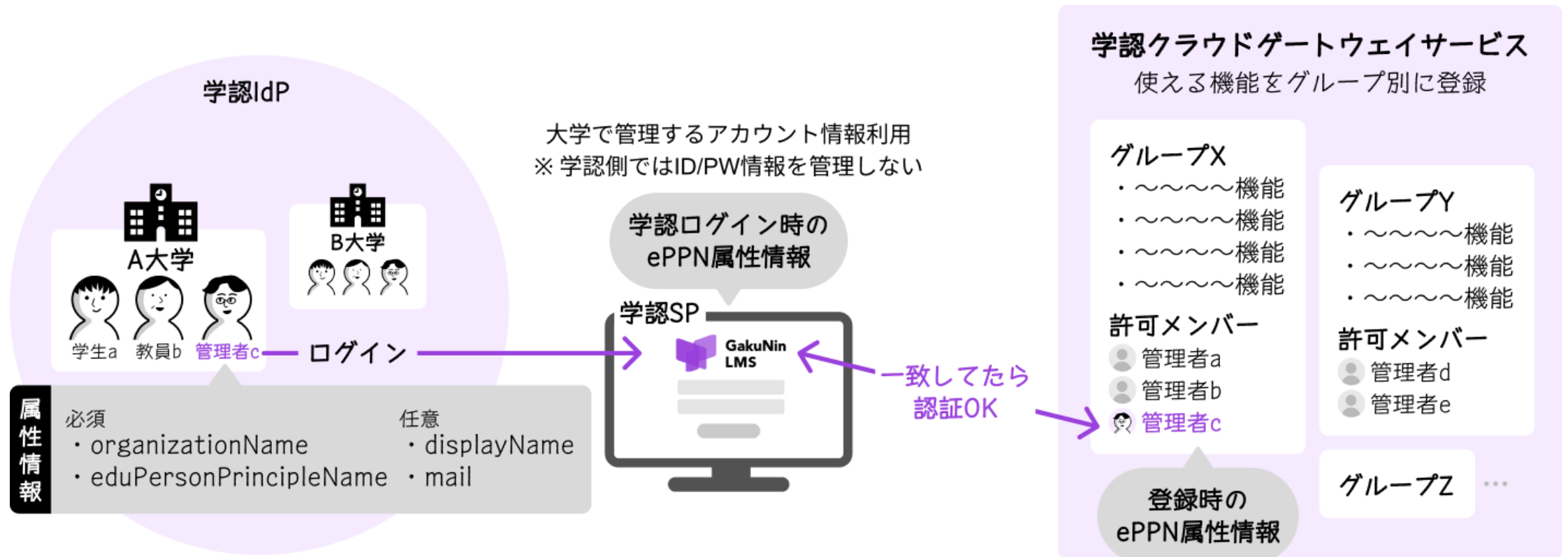
- 情報セキュリティ講座の受講履歴取得機能
- 研究データ管理講座の受講履歴取得機能

テスト運用（先行利用受付）

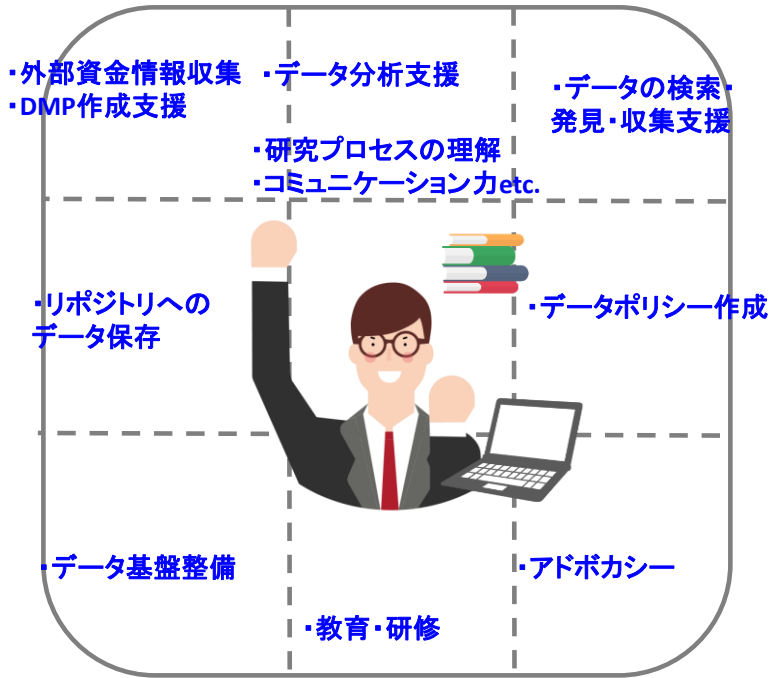
1. 受講履歴取得API機能
2. 自機関限定コース作成機能
3. 機関限定コースの共有機能
4. 自機関LMSとのLTI連携機能
5. ラーニングアナリティクス機能
6. マイクロコンテンツ教材作成機能
7. 合成音声ビデオ教材作成システム

人材育成基盤（学認LMS）のしくみ

- ・ 利用機関ごとにユーザ管理できる
- ・ 所属機関のユーザの学習状況を管理できる
- ・ 学認クラウドゲートウェイサービスと連携し、機関管理者機能の各種権限を付与

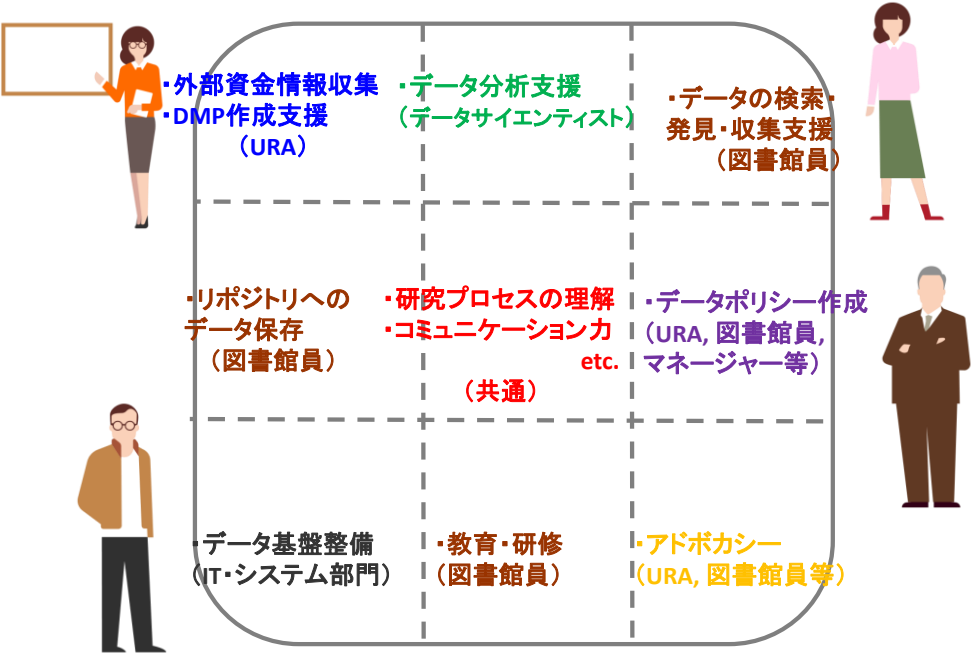


学術機関における研究データ管理支援の組織モデルについて



エキスパート型

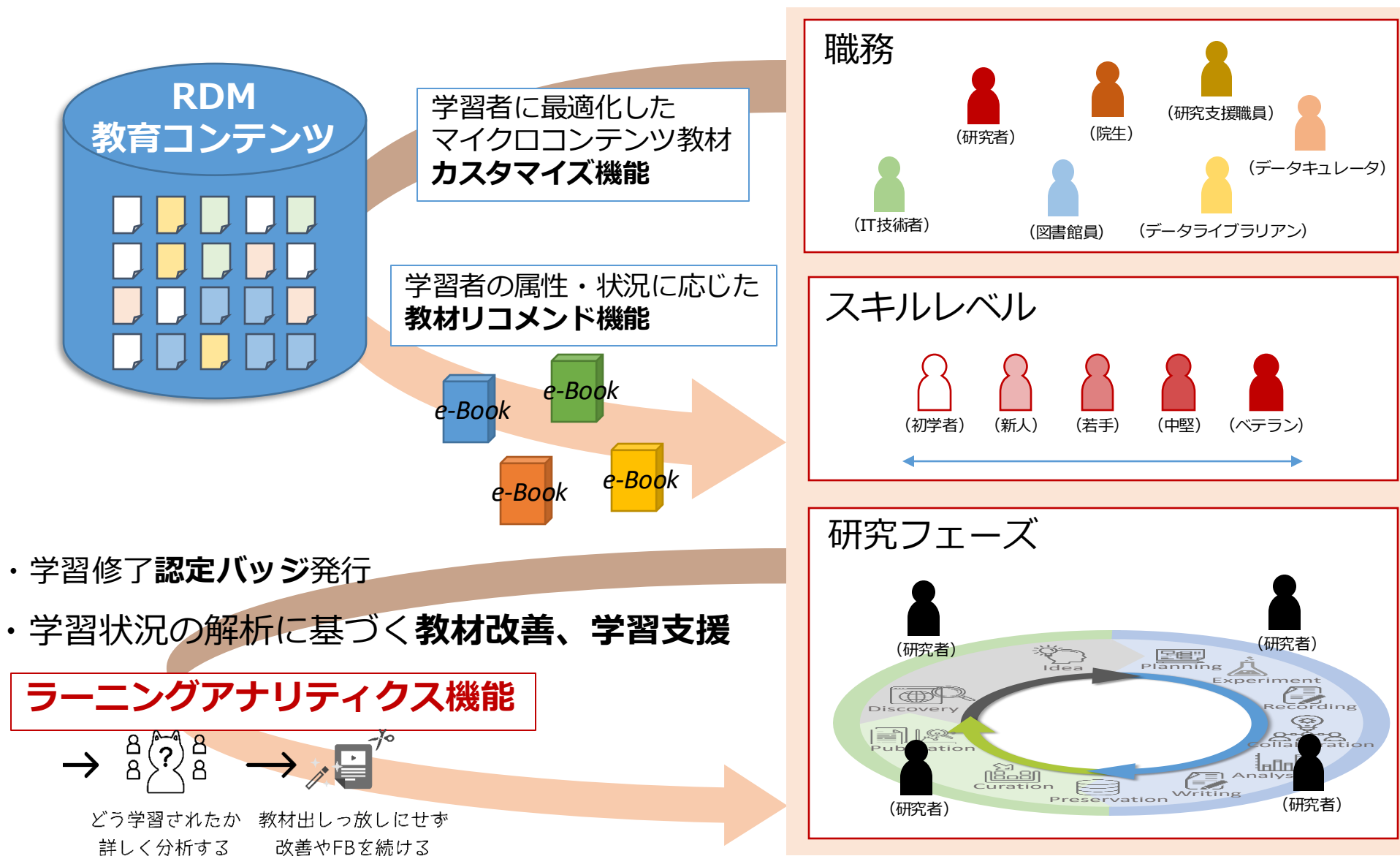
一人のデータライブラリアンが全て担う
多くの自己学習やトレーニングが必要



機能型

学術機関で研究データ管理体制を整備
従来の職種が各々関わりのある職域について
研究データ管理支援を行うことが可能
組織全体として機能を果たす
関連部署等の連携も重要

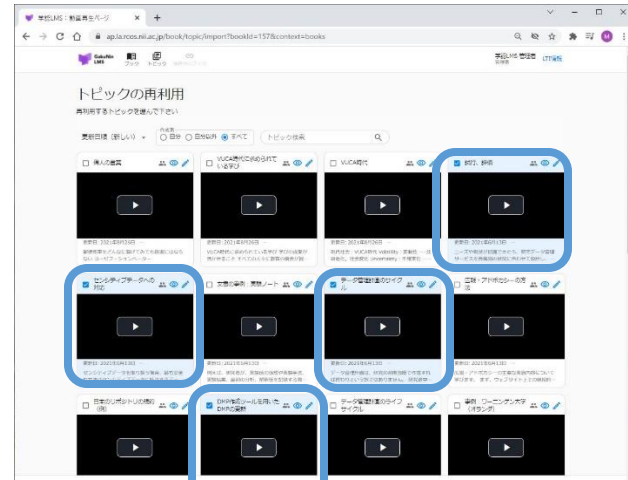
研究データ管理の人材育成基盤の実現



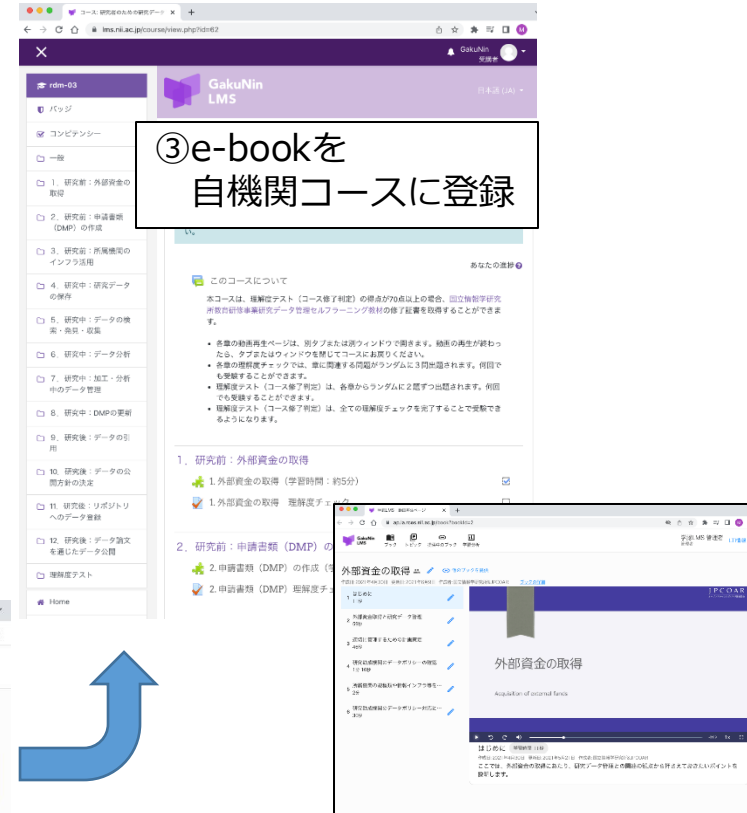
6. マイクロコンテンツ教材作成機能

テスト運用中

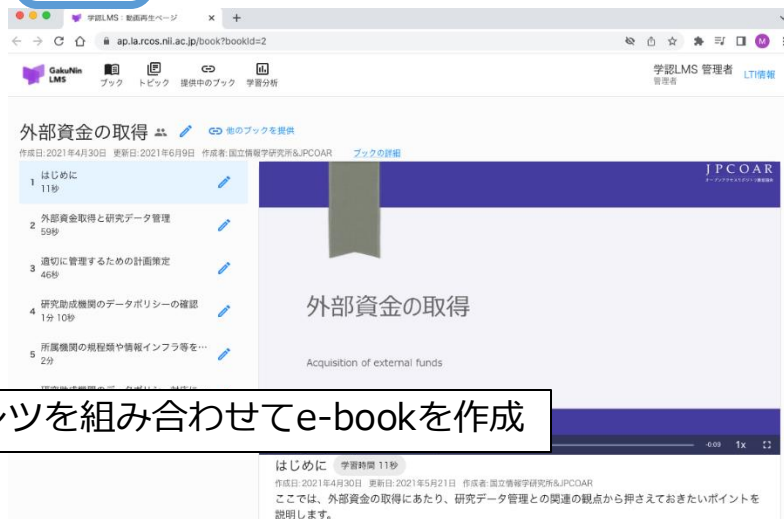
①再利用可能なコンテンツ（トピック）を検索



③e-bookを 自機関コースに登録



②コンテンツを組み合わせてe-bookを作成



https://contents.nii.ac.jp/lms_support/option/micro_contents

マイクロコンテンツ動画再生ページ（教材表示画面）

ブックに含まれる
各トピックの
タイトルメニュー
上から順番に自動再生

1. 外部資金の取得

作成日: 2021年4月22日 更新日: 2022年9月28日 作成者: 国立情報学研究所&JPCOAR [ブックの詳細](#)

1	はじめに	10秒	完了
2	外部資金取得と研究データ管理	57秒	
3	適切に管理するための計画策定	44秒	
4	研究助成機関のデータポリシーの...	1分 6秒	
5	所属機関の規程類や情報インフラ...	1分 55秒	
6	研究助成機関のデータポリシー対...	28秒	

外部資金取得と研究データ管理

- 研究公正、研究データの積極的な利活用促進の観点にとどまらず、資金提供元に対する説明責任（公的な資金の場合は納税者への説明責任）の観点からも、研究データの適切な管理が重要
- 「公的な資金によって実施された研究で生み出された成果やそのもととなるデータ等は公的資産としての性格も有することから、それらを適切に管理・保存し、必要に応じて開示することは、研究者及び研究機関に課せられた責務」（日本学術会議「科学研究における健全性の向上について」
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-k150306.pdf>）

外部資金取得と研究データ管理 学習時間 57秒

作成日: 2021年4月22日 更新日: 2022年9月28日 作成者: 国立情報学研究所&JPCOAR

研究データの適切な管理が重視されるようになってきた背景として、研究公正や、オープンサイエンスの推進による研究成果の幅広い利活用への期待が挙げられます。

外部資金を取得して行われる研究の場合、資金提供元に対する説明責任の観点からも研究データの適切な管理が重要です。

特に、公的な資金によって実施された研究で生み出された成果や、そのもととなるデータ等は公的資産としての性格も有しており、納税者への説明責任の観点からも、研究データの適切な管理が求められます。

こういった背景を受けて、研究助成機関によっては、研究データに係るポリシーを定めて研究データの適切な管理を促している場合があります。

【参考資料へのリンク】

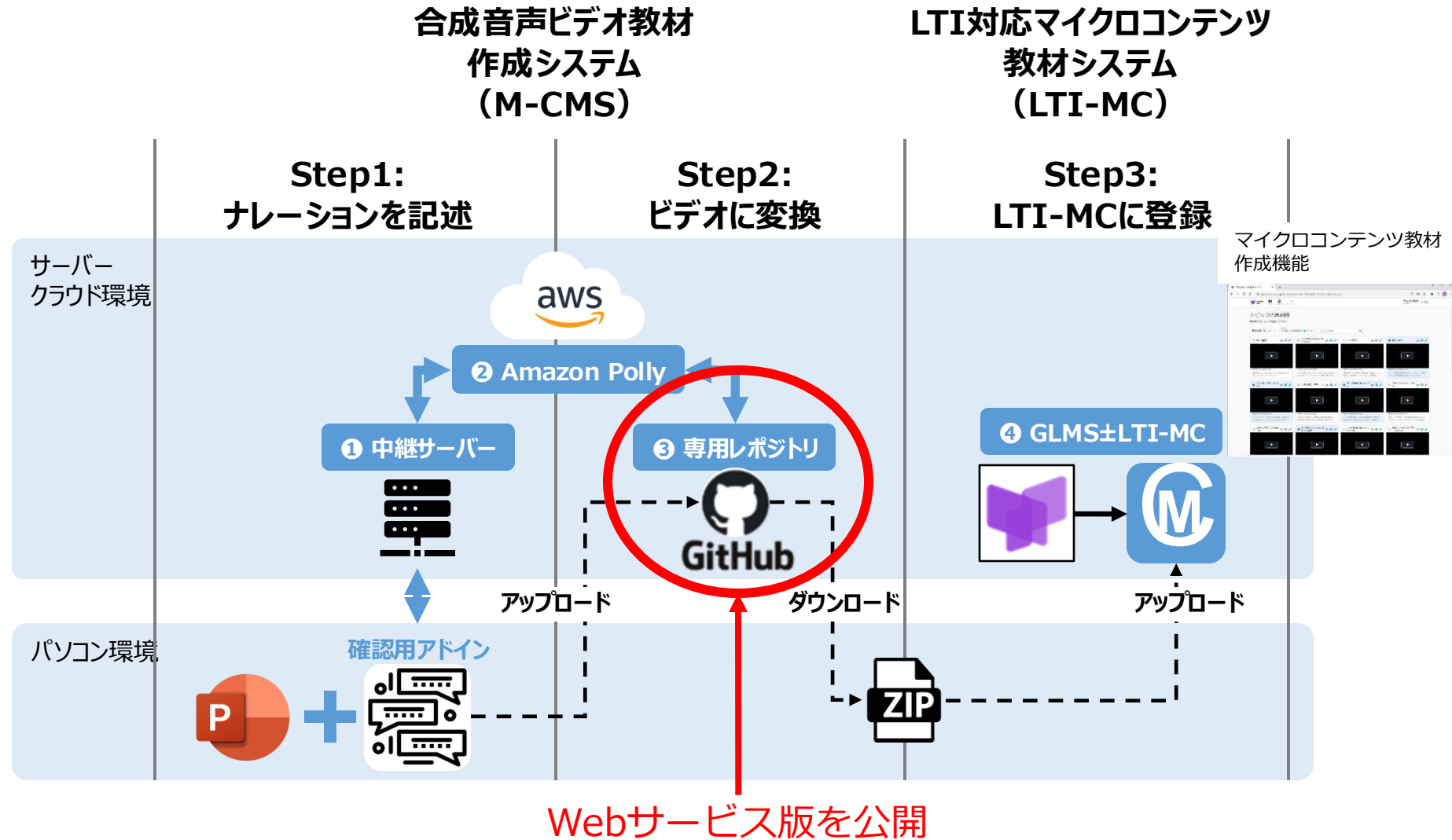
- [日本学術会議「科学研究における健全性の向上について」](#)

←再生する動画

←字幕やURL等
のテキスト情報

7.合成音声ビデオ教材作成システム

テスト運用中



PtM: 合成音声付き動画教材作成システム

テスト運用中



学認でログイン

音声合成ビデオ作成システム

STEP0: 作成の流れ

STEP1: PPTの選択

STEP2: ビデオの作成

STEP0: 音声合成ビデオ作成の流れ

※ FirefoxとSafariでは使用できませんのでご注意ください。
Google Chrome・Microsoft Edgeのみ使用できます。

STEP1

パワーポイントファイルを含むディレクトリを選択し、使用するパワーポイントを選択します。

STEP2

音声合成ビデオを作成します。

STEP1: PPTの選択へ



操作マニュアル

<https://ptm.nii.ac.jp>

まとめ

学認LMSを活用した大学横断型の研究データ管理教育支援：

1. 専門コミュニティと連携し、共通コースを提供
2. 自機関限定コースの共有機能を活用した展開を支援
3. マイクロコンテンツ教材による教材の共有・編集が可能
4. PtMによるマイクロコンテンツ教材の作成・提供支援